



Title	東洋教育史関連文献目録2009
Author(s)	北村, 嘉恵
Description	本目録は、教育史学会『日本の教育史学』第53号（2010年10月刊行）所蔵の「東洋教育史の研究動向」の別添資料として作成されたものである。
Issue Date	2010-09-22T00:20:09Z
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/43884">https://hdl.handle.net/2115/43884</a>
Type	other
File Information	tk_cat09.pdf



# 東洋教育史関連文献目録 2009

北村嘉恵

## はしがき

1. 本目録は、教育史学会『日本の教育史学』第53号（2010年10月刊行予定）所載の拙稿「東洋教育史の研究動向」の別添資料として作成したものである<sup>1</sup>。本目録には、2009年1～12月に日本国内で公刊された「東洋」の「教育」に関する歴史的研究を載録した。あわせて、当該時期に関わる博士論文、および、科学研究費研究プロジェクトを掲載した。
2. 本目録の構成は、以下のとおりである。
  - I 書籍
  - II 雑誌に収録された論文、書評、資料の翻刻等
  - III 博士論文
  - IV 科学研究費補助金（日本学術振興会／文部科学省）による研究プロジェクト
3. 文献の配列順序は、以下のとおりである。
  - I 書籍は、i. 単著、ii. 共著、iii. 資料の翻刻、翻訳に分類したうえで、それぞれについて発行時期、著者名（50音順）により配列した。このうち単著については、a. 中国、b. 台湾、c. 朝鮮、d. アジア全般に分類したうえで発行時期、著者名により配列した。
  - II 雑誌論文は、掲載誌を50音順に配列したうえで、雑誌ごとに掲載号、掲載頁により配列した。
  - III 博士論文は、a. 中国、b. 台湾、c. 朝鮮、d. アジア全般に分類したうえで、提出時期、著者名（50音順）により配列した。
  - IV 科研費研究プロジェクトは、a. 中国、b. 台湾、c. 朝鮮、d. 東南アジア、e. アジア全般に分類したうえで、補助金交付年度、研究費目、研究代表者により配列した。
4. 各文献について、以下の事項を記載した。
  - I 書籍：①編著者名、②書名、③発行所名、④発行月、⑤頁（単著の場合は総頁数、共著の場合は総頁数および個別論文の掲載頁）、⑥備考
  - II 論文：①著者名、②論文名、③掲載誌名、④発行者名、⑤巻、⑥号・通号、⑦発行月、⑧掲載頁、⑨ウェブサイト上でのダウンロード可否<sup>2</sup>
  - III 博士論文：①著者名、②論文名、③学位授与機関名、④学位授与月、⑤取得学位（専攻分野）
  - IV 科研費プロジェクト：①研究代表者名、②研究分担者、③研究課題、④研究期間、⑤

## 研究種目、⑥研究分野

5. 文献調査は、主に以下の方法によった。

書籍および雑誌論文については、『史学雑誌』（史学会）、『日本歴史』（日本歴史学会）等所載の文献目録、新刊紹介、書評や各学協会機関誌を通覧したほか、「CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）」（国立情報学研究所）<sup>3</sup>、各研究機関・学協会のリポジトリ<sup>4</sup>、各研究プロジェクトや出版社・書店のウェブサイト等で検索を行った。また、博士論文については「博士論文書誌データベース」（国立国会図書館・国立情報学研究所）<sup>5</sup>、科研費プロジェクトについては「科学研究費補助金データベース」（国立情報学研究所）<sup>6</sup>のデータによった。

6. 拙稿「東洋教育史の研究動向」でも述べたとおり、本目録で「東洋」「教育」「歴史」に関わる研究として載録した範囲は、筆者のこれまでの関心を反映しており、地域や時代、主題によっては文献調査もなお不十分である。本来なら掲載すべき情報が収録されていない場合もある。本目録の不備をあらかじめお詫びするとともに、補遺すべき文献やお気づきの点についてご教示いただければ幸いに思う。

なお、こうした文献目録については、個人による単年の作業に終わらせるのではなく、学会員をはじめとして教育史研究に関心を持つ人々の協力を得て継続的に充実させていくとともに、広く利用可能な形で公開していくことが（学会活動の一環としても）重要だろうと思う。

（2010年8月10日）

---

<sup>1</sup> 本目録の公開にあたり、「東洋教育史の研究動向」脱稿以降に一部増補を加えている。

<sup>2</sup> インターネット上で入手可能な文献については、「Web」欄に「D」を記入した。また、現時点では閲覧制限があるが刊行後2～3年程度で公開予定と思われるものについては「D\*」を記入した。ただし、いずれも2010年7月末までに編者が確認できたものに限る。インターネット上のデータ公開状況は常に変動しているため、利用にあたってはご注意ください。なお、電子媒体の刊行物が「CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）」（国立情報学研究所）にリンクしていないケースも少なくない。このうち一部の刊行物は、「日本の機関リポジトリ一覧」（国立情報学研究所）<http://www.nii.ac.jp/irp/list/> からたどることが可能だが、この一覧（リンク集）に未登録の機関リポジトリも少なくない。

<sup>3</sup> 「CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）」（国立情報学研究所）<http://ci.nii.ac.jp/>

<sup>4</sup> なお、「学術研究データベース・リポジトリ」（国立情報学研究所）[https://dbr.nii.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G9200001CROSS](https://dbr.nii.ac.jp/infolib/meta_pub/G9200001CROSS) には、「東南アジア関係文献目録データベース」（東南アジア史学会）、「中央アジア研究文献目録」（東洋文庫）、「日本における中東・イスラーム研究文献目録」（東洋文庫）等のデータベースが登録されているが、いずれも近年の研究成果は含まれていない。

<sup>5</sup> 「博士論文書誌データベース」[http://dbr.nii.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000016GAKU11](http://dbr.nii.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000016GAKU11)

<sup>6</sup> 「科学研究費補助金データベース」<http://kaken.nii.ac.jp/>

編著者	書名	発行者	月	頁	備考
<b>I. 書籍</b>					
<b>i. 単著</b>					
<b>a. 中国</b>					
許寿童	近代中国東北教育の研究 一 間島における朝鮮人中等教育と反日運動	明石書店	1	355	博士論文「中国東北部における朝鮮人教育の研究1906～1920 一 間島における朝鮮人中等教育と日中の政策を中心に」(一橋大学、2006)
李紅衛	清水安三と北京崇貞学園 一 近代における日中教育文化交流史の一断面	不二出版	2	340	博士論文「近代における日中教育・文化交流史研究 一 清水安三と北京崇貞学園を中心に」(お茶の水女子大学、2007年)
植村広美	中国における「農工子女」の教育機会に関する制度と実態	風間書房	2	415	博士論文「中国における「農工子女」の教育機会の保障に関する研究」(広島大学、2007)
敵安生	陶晶孫 その数奇な生涯 一 もう一つの中国人留学精神史	岩波書店	3	405	
顧明遠著／大塚豊監訳	中国教育の文化的基盤	東信堂	6	328	原著『中国教育の文化基礎』(山西教育出版社、2003)の日本語訳
篠原清昭	中国における教育の市場化 一 学校民営化の実態	ミネルヴァ書房	10	235	
柴田哲雄	協力・抵抗・沈黙 一 汪精衛南京政府のイデオロギーに対する比較史的アプローチ	成文堂	11	460	博士論文「汪精衛南京政府の研究」(京都大学、2003)
南部広孝	中国高等教育独学試験制度の展開	東信堂	12	248	博士論文「中国における高等教育独学試験制度の展開」(京都大学、2005)
<b>b. 台湾</b>					
山崎直也	戦後台湾教育とナショナル・アイデンティティ	東信堂	2	285	博士論文「戦後台湾における教育と『国家認同』 一 国民中学の公民教育にみる変化と不変」(東京外国語大学、2007)
林初梅	「郷土」としての台湾 一 郷土教育の展開にみるアイデンティティの変容	東信堂	2	368	博士論文「台湾における郷土教育思潮とアイデンティティ形成 一 郷土観・歴史観・言語観の模索」(一橋大学、2007)
張季琳	台湾における下村湖人 一 文教官僚から作家へ	東方書店	3	256	
中川仁	戦後台湾の言語政策 一 北京語同化政策と多言語主義	東方書店	4	198	博士論文「戦後台湾における北京語同化政策と多言語主義への展開」(明海大学、2006)
<b>c. 朝鮮</b>					
呉圭祥	ドキュメント在日本朝鮮人連盟 1945-1949	岩波書店	3	422	
井津元久美夫	私の中の朝鮮人学校教育事件 一 アメリカ占領軍に抗して 井津元久美夫・体験回想録	総合企画舎ウイール	4	267	(シリーズ朝鮮学校の歩み)
宋連玉	脱帝国のフェミニズムを求めて 一 朝鮮女性と植民地主義	有志舎	10	270	
川瀬貴也	植民地朝鮮の宗教と学知 一 帝国日本の眼差しの構築	青弓社	11	244	博士論文「植民地期朝鮮における宗教をめぐる「眼差し」 一 宗教政策・植民地布教・学知」(東京大学、2005)

編著者	書名	発行者	月	頁	備考
<b>d. アジア全般</b>					
吉田千鶴子	近代東アジア美術留学生の研究 一東京美術学校留学生史料	ゆまに書房	2	253	
柳舗泰著／岩方久彦訳	歓声のなかの警鐘 一東アジアの歴史認識と歴史教育の省察	明石書店	8	432	
君島和彦	日韓歴史教科書の軌跡 一歴史の共通認識を求めて	すずさわ書店	11	317	
倉石一郎	包摂と排除の教育学 一戦後日本社会とマイノリティへの視座	生活書院	11	337	
<b>ii. 共著</b>					
奥島美夏編	日本のインドネシア人社会 一国際移動と共生の課題	明石書店	1	346	
池上重弘	グローバル化時代の日本留学 一日本の留学生受け入れとインドネシア人留学生	明石書店	1	48-68	
飯島渉、久保亨、村田雄二 郎編	シリーズ20世紀中国史2 近代性の構造	明石書店	1	232	
高田幸男	近代教育と社会変容	東京大学出版会	2	125-144	
大里浩秋、孫安石編	留学生派遣から見た近代日中関係史	御茶の水書房	2	216	
桑兵	近代の日本人中国留学生	御茶の水書房	2	3-35	
孫安石	戦前の外務省の中国への留学生派遣について 一明治、大正期を中心に	御茶の水書房	2	37-68	
川崎真美	駐清公使矢野文雄の提案とそのゆくえ 一清末における留日学生派遣の契機	御茶の水書房	2	69-94	
孫安石	戦前中国人留学生の「実習」と「見学」	御茶の水書房	2	95-110	
大里浩秋	在華本邦補給生、第一種から第三種まで	御茶の水書房	2	111-152	
劉振生	「満州国」日本留学生の派遣	御茶の水書房	2	153-193	
祁建民	義隣協会と近代内モンゴル留学生教育	御茶の水書房	2	195-212	
川島真	日本占領期華北における留日学生をめぐる動向	御茶の水書房	2	213-238	
三好章	維新政府と汪兆銘政権の留学生政策 一制度面を中心に	御茶の水書房	2	239-265	
林清芬	資料1 中華民国国史館「教育部留日事務檔案」紹介	御茶の水書房	2	3-42	
大里浩秋	資料2 同仁会と『同仁』	御茶の水書房	2	43-104	
大里浩秋	資料3 日華学会と『日華学報』	御茶の水書房	2	105-191	
大里浩秋	資料4 『留東学報』目次	御茶の水書房	2	193-216	
川島真	資料5 『中国留日同学会季刊』目次	御茶の水書房	2	209-216	
井上輝子ほか編	新編日本のフェミニズム10 女性史・ジェンダー史	岩波書店	2	342	
加納実紀代	解説 〈近代〉をひらく	岩波書店	2	1-24	文末に「参考文献・読書案内」
石田米子	中国における日本軍性暴力の調査・記録に取りくんで 一被害女性たちの「出口 気」の意味を考える	岩波書店	2	70-83	初出：『中国女性史研究』第11号、2002
鈴木裕子	朝鮮植民地支配と女性	岩波書店	2	161-170	初出：『フェミニズムと朝鮮』明石書店、1994

編著者	書名	発行者	月	頁	備考
古久保さくら	満州における日本人女性の経験 ―犠牲者性の構築	岩波書店	2	198-216	初出：『女性史学』第9号、1999
飯田祐子ほか編	少女少年のポリティクス	青弓社	2	286	
サミュエル・ペリー／島村輝訳	教室の社会関係 ―日本と植民地時代の朝鮮半島における革命的児童の文学表象	青弓社	2	108-121	
「女性百年」刊行委員会編	女性百年 ―教育・結婚・職業 いかに生きたか、いかに生きるか	東北大学出版会	3	175	東北大学創立百周年記念国際シンポジウムの記録
朴宣美	女性たちの「知の回遊」 ―戦前朝鮮人女子日本留学生の役割	東北大学出版会	3	79-92	
李美淑	『尤庵先生戒女書』と「教女子法」 ―韓国と日本における儒教的な女性教育	東北大学出版会	3	97-113	
山崎和美	20世紀前半イランにおける女性活動家たちの闘争 ―女子教育推進を目指して	東北大学出版会	3	139-153	
松田利彦、やまだあつし編	日本の朝鮮・台湾支配と植民地官僚	思文閣出版	3	731	
松田利彦	朝鮮における植民地官僚 ―研究の現状と課題	思文閣出版	3	23-41	
やまだあつし	台湾植民地官僚制について	思文閣出版	3	42-53	
通堂あゆみ	植民地朝鮮出身者の官界進出 ―京城帝国大学法文学部を中心に	思文閣出版	3	57-106	
大浜郁子	書房・義塾参考書の制定過程にみる台湾の植民地的近代教育の形成	思文閣出版	3	159-197	
広瀬貞三	朝鮮総督府の土木官僚	思文閣出版	3	260-302	
李昇燁	外務省における「外地人」官僚 ―朝鮮人副領事特別任用制度を中心に	思文閣出版	3	589-614	
辻美代、金澤孝彰、許海珠編	中国の改革開放30年の明暗 ―とける国境、ゆらく国内	世界思想社	3	227	
鄭雅英	朝鮮族教育と民族自治	世界思想社	3	44-57	
陶徳民、姜克實、見城悌治編	東アジアにおける公益思想の変容 ―近世から近代へ	日本経済評論社	3	292	
姜克實	解題 ―近代における伝統と公益思想	日本経済評論社	3	1-12	
夫馬進	中国社会保障史上における近代の始まり ―特に「教養兼施」の「新しき」について	日本経済評論社	3	195-228	
朱英	近代中国実業家の社会奉仕 ―張謇の慈善・公益思想と活動	日本経済評論社	3	229-243	
趙明遠	近代南通における社会保障システムの構築と張謇の役割について	日本経済評論社	3	245-262	
陳璋芬	張謇・熊希齡にみる近代社会公益思想の展開 ―洪沢栄一との比較を通して	日本経済評論社	3	263-289	
森山幹弘、塩原朝子編	多言語社会インドネシア ―変わりゆく国語、地方語、外国語の諸相	めこん	3	323	東京外国語大学A・A言語文化研究所主催の共同研究プロジェクト「インドネシアの国語政策と言語状況の変化」(2006-07)の成果
森山幹弘	国語政策における地方語の位相	めこん	3	7-19	
柏村彰夫	[コラム] インドネシア語は憲法でどのように規定されたか	めこん	3	20-24	
舟田京子	国立言語センターと言語政策	めこん	3	25-49	
柏村彰夫	[コラム] 国民教育省	めこん	3	51-57	
森山幹弘	スダ語の尊重と育成 ―言語政策における地方語の位相	めこん	3	59-89	
鏡味治也	インドネシアの学校教育に見る国語と地方語	めこん	3	97-120	
ウガ・プルチェカ著／柏村彰夫訳	イスラム寄宿塾ゴントルにおけるアラビア語	めこん	3	283-293	

編著者	書名	発行者	月	頁	備考
木村涼子編	リーディングス日本の教育と社会 第16巻 ジェンダーと教育	日本図書センター	5	442	
金富子	植民地教育とジェンダー —教育版植民地近代化論を再考する	日本図書センター	5		
貴志俊彦、谷垣真理子、深町英夫編	模索する近代日中関係 —対話と競争の時代	東京大学出版会	6	324	
容應英	異郷に育つ —19世紀アメリカの日本人・中国人留学生	東京大学出版会	6	3-21	
深町英夫	師か? 敵か? —蒋介石・閩錫山の留日経験と近代化政策	東京大学出版会	6	61-76	
章清	近代的学科の形成 —中国における「日本要素」の出現	東京大学出版会	6	79-98	
森時彦編	20世紀中国の社会システム	京都大学人文科学研究所	6	602	
蒲豊彦	庶民のための書き言葉を求めて —清末から民国へ	京都大学人文科学研究所	6	3-26	
高嶋航	近代中国求婚公告史(1902-1943)	京都大学人文科学研究所	6	51-94	
柴田哲雄	汪精衛南京政府下の大東亜戦争博覧会	京都大学人文科学研究所	6	95-112	
箱田恵子	外交制度改革と在外公館 —日露戦争後の人事制度改革を中心として	京都大学人文科学研究所	6	269-294	
宮原佳昭	清末民初における湖南省教育会の職員構成とその変容	京都大学人文科学研究所	6	395-430	
川尻文彦	陶行知とデューイの訪中 —民国初期中国教育史の一側面	京都大学人文科学研究所	6	431-457	
宗石道夫編	回想 齊齊哈爾中学校 —遙かなる我幻の母校	サッポロ堂書店	6	283	
萬美保、村上史展編	グローバル化社会の日本語教育と日本文化 —日本語教育スタンダードと多文化共生リテラシー	ひつじ書房	7	306	
松田典子	多民族社会における異文化間理解教育 —「旧満州」の人材養成を事例として	ひつじ書房	7	210-227	
坂井俊樹、浪川健治、森田武編	ゆるる境界・国家・地域にどう向きあうか —歴史教育と歴史学の協働をめざして	明石書店	8	413	
福島俊弘	在日朝鮮人一世の生業と夜間中学 —「ひのき縄」の仕事と記憶を想起する学び	明石書店	8	340-362	
王敏編	国際日本学とは何か? 中国人の日本観 —相互理解のための思索と実践	三和書籍	8	427	国際日本学研究叢書9
徐水	二〇世紀一〇～二〇年代中国の教科書に見る日本観 —民国臨時政府～南京政府成立まで	三和書籍	8	151-171	
胡鳴	日本留学時期の周恩来の日本観 —『周恩来旅日日記』を手がかりに	三和書籍	8	215-232	
木村一信、崔在喆編	韓流百年の日本語文学	人文書院	10	330	
崔在喆	安部能成における「京城」「京城帝大」	人文書院	10	141-154	
董国強編/関智英、金野純、大澤肇訳	文革 —南京大学14人の証言	築地書館	11	420	
油谷幸利先生還暦記念論文集刊行委員会編	朝鮮半島のことばと社会 —油谷幸利先生還暦記念論文集	明石書店	11	709	
洪允杓著/千田俊太郎訳	『千字文』類について	明石書店	11	128-159	
宋喆儀著/中村麻結訳	反切表と伝統時代のハングル教育	明石書店	11	451-475	
波田野節子	朝鮮近代文学者の日本留学 —韓末の三つの波	明石書店	11	502-527	

編著者	書名	発行者	月	頁	備考
三ツ井崇	没主体的「東洋」像の形成 ―近代日本における東洋史学の形成と「言語」「地理」言説	明石書店	11	649-678	
加藤千香子、細谷実編	暴力と戦争 (ジェンダー史叢書 第5巻)	明石書店	10	317	
秋山洋子	中国における女性兵士	明石書店	10	136-153	
山岸智子	前線の姉妹兵 ―イラン女性の回想録から	明石書店	10	154-175	
橋本順光	黄禍論とジェンダー ―柔弱から柔術へ (コラム)	明石書店	10	201-203	
成田龍一	女性と総力戦 ―大日本帝国の女性たち	明石書店	10	246-265	
根橋正一、東美晴編	移動する人々と中国にみる多元的社会 ―史的展開と問題状況	明石書店	9	328	日中社会学叢書 グローバリゼーションと東アジア社会の新構想7
宮崎満	農民工「流動」子弟の教育問題	明石書店	9	166-191	
剣持久木、小菅信子、リオネル・バビッチ編	歴史認識共有の地平 ―独仏共通教科書と日中韓の試み	明石書店	9	238	シンポジウム「独仏和解のプロセスと共同歴史教科書プロジェクト」(主催:ドイツ文化センター、日仏会館、東京日仏学院)の記録
リオネル・バビッチ	東アジアにおける共通の歴史認識の探究	明石書店	9	134-157	
川島真	日中間の歴史共同研究からみた教科書問題	明石書店	9	158-177	
木村幹	日韓における共同の歴史的叙述の可能性	明石書店	9	178-189	
君島和彦	日韓歴史対話と共通教材の作成	明石書店	9	190-200	
宮原武夫	日本と韓国・朝鮮の歴史を書く	明石書店	9	201-211	
小菅信子	共通歴史叙述と和解 ―東アジアにおける「歴史の政治化」と「歴史の歴史化」	明石書店	9	212-231	
日本タイ学会編	タイ事典	めこん	9	560	
ライラ・アブー・エルゴド編/後藤絵美、竹村和朗、千代崎未央、鳥山純子訳、宮原麻子訳	「女性をつくりかえる」という思想 ―中東におけるフェミニズムと近代性	明石書店	7	592	Lila Abu-Lughod (ed), <i>Remaking women: feminism and modernity in the Middle East</i> , Princeton University Press, 1998 の全訳
ハーレド・ファフミー	一九世紀エジプトにおける女性・医学・権力	明石書店	7	73-134	
アフサーネ・ナジュマバーディー	教養ある主婦をつくり出す ―イランにおける取り組み	明石書店	7	165-229	
オムニア・シャクリー	教育を受けた母、構造化された遊び ―一九世紀末から二〇世紀初頭のエジプトにおける育児	明石書店	7	230-316	
デニズ・カンディョティ	トルコの女性と近代性をめぐる、厄介な問題	明石書店	7	511-547	
<b>iii. 資料の翻刻、翻訳</b>					
中京大学社会科学研究所台湾史研究センター編	台湾行啓記録 (社研叢書25 台湾史料叢書3)	中京大学社会科学研究所	3	459	宮内庁書陵部所蔵草稿版の翻刻 東山京子「解説 裕仁皇太子の『台湾行啓』について」(447-458)
韓哲昊、金基承、金仁基、趙王鎬/三橋広夫訳	韓国近現代の歴史 ―検定韓国高等学校近現代史教科書 (世界の教科書シリーズ24)	明石書店	5	344	『高等学校韓国近現代史』(大韓教科書)の翻訳
阿部洋編	日本植民地教育政策史料集成 台湾篇 第3集 教育施策関係資料 (第17-22巻)	龍溪書舎	7		阿部洋、上沼八郎「解題 第三集「教育施策関係資料」について」(第17巻、9-111)
課程教材研究所、総合文科課程教材研究開発中心編著/並木頼寿監訳	中国の歴史と社会 ―中国中学校新設歴史教科書 (世界の教科書シリーズ26)	明石書店	9	360	『歴史と社会』(人民教育出版社)の抄訳 大澤肇、小川快之、小川唯、小俣ラポー日登美、倉田明子、齋藤一晴、三王昌代、田中靖彦訳

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
<b>II. 雑誌論文</b>								
北島順子	近代教科書にみる「健康」・「体育」の思想(2) —国定教科書と日本植民地等(南洋群島)教科書の中の「運動会」に関する記述・記載の比較検証	Iphigeneia <ISC・21>版	ISC・21	1		4	98-122	
富田真菜	公学校第一期国語教科書における男女	朝日大学留学生別科紀要	朝日大学留学生別科	6	6	3	23-29	
山下達也	植民地朝鮮における教員の思想問題	アジア教育	アジア教育学会	3		11	32-44	D
高田幸男	近代中国の大学と地域エリート —三江師範学堂・東南大学の事例研究	アジア教育史研究	アジア教育史学会	18		3	1-12	
大澤肇	南京国民政府の政治教育 —一九二七～一九三四	アジア教育史研究	アジア教育史学会	18		3	13-32	
山本一生	山東省膠澳商埠における壬戌学制の定着過程 —公立小学校の生徒数の変遷を中心に	アジア教育史研究	アジア教育史学会	18		3	33-47	
松岡昌和	日本軍政下シンガポールにおけるこども向け音楽工作	アジア教育史研究	アジア教育史学会	18		3	48-64	
陳虹姘	[書評] 宮崎聖子著『植民地期台湾における青年団と地域の変容』御茶の水書房, 2008	アジア教育史研究	アジア教育史学会	18		3	79-81	
清水浩子	[新刊紹介] 伊藤美重子著『敦煌文書にみる学校教育』汲古書院, 2008	アジア教育史研究	アジア教育史学会	18		3	82-84	
大塚豊	[書評] 南亮進・牧野文夫・羅敏鎮著『中国の教育と経済発展』, 東洋経済新報社, 2008年7月, 258頁	アジア経済	日本貿易振興機構アジア経済研究所研究支援部	50	6	6	62-66	
大澤肇	中華人民共和国初期における学校教育と社会統合	アジア研究	アジア政経学会	55	1	1	73-90	
関口勝	台湾における日治史研究の現状と伊沢修二の日本語教育について	アジア研究所・アジア研究シリーズ	亜細亜大学アジア研究所	71		3	3-21	D
李賢一	京城帝国大学医学部の研究活動 —その学術誌の分析を中心に	アジア太平洋研究科論集	早稲田大学アジア太平洋研究センター	17		4	103-121	D
佐藤照雄	戦前における日本の対タイ文化事業 —招致留学生奨学資金制度を中心として	アジア太平洋研究科論集	早稲田大学アジア太平洋研究センター	17		4	249-268	D
アン ティ・グウェン	東アジア地域統合におけるベトナムの高等教育国際化 —国家政策と大学機関の取り組み —ハノイのベトナム国立大学の事例	アジア太平洋研究科論集	早稲田大学アジア太平洋研究センター	18		11	257-287	D
小田敏花	近代日韓唱歌教育と西洋音楽 —日本と韓国の音楽の近代化をめぐる	アジア太平洋研究科論集	早稲田大学アジア太平洋研究センター	18		11	431-450	D
菅野敦志	台湾における「本土化」と言語政策 —単一言語主義から郷土言語教育へ	アジア太平洋討究	早稲田大学アジア太平洋研究センター	12		3	223-249	D
菅野敦志	「国語」推進と民族団結 —蔡培火と戦後台湾の言語問題	アジア太平洋討究	早稲田大学アジア太平洋研究センター	13		11	113-131	D
劉書彦	京城帝国大学法文学部と台北帝国大学文政学部における文科学部の設置と発展 —植民地統治の差異をめぐる	アジア文化研究	国際アジア文化学会	16		6	105-118	
胡穎	『官報』からみる清末日本留学生の生活実状について —医療問題を中心として	アジア文化研究	国際アジア文化学会	16		6	77-90	
王曉秋／飛田良文、江源、村田和美、川副悠史訳注	中国人の目から見た近代中日文化交流年表	アジア文化研究	国際基督教大学	35		3	65-92	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
大澤広嗣	ビルマ占領と仏教対策 ―東洋大学出身者の動向を中心として	アジア文化研究所研究年報	アジア文化研究所	43		2	13-28	
奥山直司	明治インド留学生たちが見た「比叻」と「金剛」の航海	アジア文化研究所研究年報	アジア文化研究所	43		2	100-84	
薄培林	中村敬宇と清末中国の官僚文人	アジア文化交流研究	関西大学アジア文化交流研究センター	4		3	151-175	D
陳贊	倉石武四郎と現代中国語教育 ―発音表記法の変化を中心に	アジア文化交流研究	関西大学アジア文化交流研究センター	4		3	177-195	D
紅粉芳恵	近代以前の日中語学学習書から見る中国語教授法	アジア文化交流研究	関西大学アジア文化交流研究センター	4		3	263-275	D
藤田高夫	林泰輔と王国維 ―出土史料研究黎明期の日中学術交流	アジア文化交流研究	関西大学アジア文化交流研究センター	4		3	73-79	D
松永典子	「大東亜文化建設」とシンガポール (シンガポール都市論 ―日本との関連を中心としたシンガポールの歴史)	アジア遊学	勉誠出版	123		6	137-149	
大澤広嗣	昭南神社 ―創建から終焉まで (シンガポール都市論 ―日本との関連を中心としたシンガポールの歴史)	アジア遊学	勉誠出版	123		6	150-160	
譚恵芳	シンガポール国立大学中文図書館の日本語資料について (シンガポール都市論)	アジア遊学	勉誠出版	123		6	161-163	
江田優子 ベギー	シンガポールの初等教育 ―国家が英語話者を生みだすとき (シンガポール都市論 ―シンガポールの言語と教育)	アジア遊学	勉誠出版	123		6	65-75	
郭俊海	日本語教育から見た日本 ―シンガポール (シンガポール都市論 ―シンガポールの言語と教育)	アジア遊学	勉誠出版	123		6	87-99	
向正樹	モンゴル治下福建沿海部のムスリム官人層	アラブ・イスラム研究	関西アラブ研究会	7		5	79-94	
小杉泰、岡本多平、竹田敏之	日本におけるアラビア語教科書と文法用語 ―教育戦略と基本用語の邦訳をめぐって	イスラーム世界研究	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究 研究科附属イスラーム地域研究センター	2	2	3	63-95	D
日下部達哉	バングラデシュ農村のマドラサ	イスラーム地域研究ジャーナル	早稲田大学イスラーム地域研究機構		創刊号	3	23-36	D
北村歳治、長谷川奏編	[会議報告] 第8回国際シンポジウム・イスラムとIT ―イスラーム世界の経済と教育	イスラム科学研究	早稲田大学イスラム科学研究所	5		3	181-229	
アジーザ・バハルディーン、保坂修司、鴨川明子	[ディスカッション] イスラーム世界の経済と教育	イスラム科学研究	早稲田大学イスラム科学研究所	5		3	205-226	
高橋謙三、樋口美作	コンクルード・リマックスおよび閉会の挨拶	イスラム科学研究	早稲田大学イスラム科学研究所	5		3	227-229	
小河久志	イスラーム教育の変容と多様化する宗教実践 ―タイ南部ムスリム村落の事例から	イスラム世界	日本イスラム協会	73		3	27-60	
安藤潤一郎	[書評と紹介] 坂本勉編著『日中戦争とイスラーム ―満蒙・アジア地域における統治・懐柔政策』	イスラム世界	日本イスラム協会	73		3	147-153	
山崎和美	イランにおける女子近代教育の発展と女子教育に関する言説	イスラム世界	日本イスラム協会	74		9	29-58	
今野日出晴	「東アジア史」で考える ―歴史教育にわたるといこと	岩手大学文化論叢	岩手大学教育学部社会科教育科	7		3	145-159	D
中川康弘	ベトナムの日本兵が残っていた日本語 ―ベトナムに加わったあるベトナム人の語りから	桜美林言語教育論叢	桜美林大学	5		3	163-174	D

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
陳麗華	同人誌『友愛』からみる「日本語人」の植民地教育による影響	大阪大学言語文化学	大阪大学言語文化学会	18		3	3-16	
塚原東吾	シンポジウム 旧植民地帝国大学の科学史をどう考えるのか —1945年以降の歴史も射程に入れて (2008年度年会報告) シンポジウム開催の趣旨	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	34-36	
柿原泰	日本における植民地帝国大学史研究の現状と課題	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	249	3	36-40	D
加藤茂生	台北帝国大学研究の現状と課題	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	249	3	40-44	D
ホンソング著／宮川卓也訳	京城大学理工学部の教授陣, 1945.8-1946.8 —京城帝国大学とソウル大学校の関係	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	249	3	45-48	D
慎蒼健	京城帝国大学医学部の「植民地性」とは何か? —衛生学教室の社会医学研究について	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	249	3	48-52	D
飯島渉	コメント	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	249	3	52-53	D
坂野徹	シンポジウム <昭和史> 中の人類学者 —人類学と科学史の対話 (2009年度年会報告) シンポジウム開催の趣旨	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	228-229	
菊地暁	智城の事情 —近代日本仏教と植民地朝鮮人類学	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	229-233	D
泉水英計	ジョージ・H・カーの極東 —米軍統治下における琉球史編纂	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	233-237	D
アルノ・ナンタ	清野謙次の日本民族観 —大日本帝国の形質人類学者を問い直す	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	237-240	D
木名瀬高嗣	高倉新一郎における「郷土」 —「植民学」と「人間学」のあいだ	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	241-245	D
坂野徹	泉靖一の朝鮮戦争 —八学会対馬調査と東アジア冷戦構造	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	245-252	D
鶴見太郎	コメント(1)	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	252	D
慎蒼健	コメント(2)	科学史研究 第Ⅱ期	日本科学史学会	48	252	12	253	D
許瓊丰	戦後中華民国政府の華僑政策と神戸中華同文学校の再建	華僑華人研究	日本華僑華人学会	6		11	63-80	
南部広孝	アジアの高等教育事情 ダイナミック・アジア(2) 中国の高等教育戦略(前編) 急激な量的拡大と質の維持・向上に向けた改革の進展	カレッジマネジメント	リクルート	27	5	9	50-53	
趙眞璟	厳原韓語学所と釜山草梁韓語学所 —明治初期の朝鮮語教育システム復元を中心として	韓国言語文化研究	九州大学韓国言語文化研究会	17		5	1-20	
烏力更	中国内モンゴル自治区における民族教育の課題 —民族意識に関する実態調査から	関西教育学会年報	関西教育学会	33		6	155-159	
大谷渡	記憶の中の台湾と日本(3) —統治下において高等教育を受けた人びと	関西大学文学論集	関西大学	58	4	3	1-22	
修斌、陳琳琳	王国維と日本人学者の交流 —藤田豊八・田岡嶺雲・桑木巖翼を中心に	環東アジア研究センター年報	新潟大学コアステーション人文社会・教育科学系付置環東アジア研究センター	4		3	139-145	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
岡部牧夫	満鉄史研究のこれからの課題 — 国会図書館所蔵史料瞥見 (国際ワークショップ 近代中国と満鉄 — 満鉄史研究の現状と展望)	環東アジア研究センター年報	新潟大学コアステーション人文社会・教育科学系付置環東アジア研究センター	4		3	29-35	
大森直樹	「愛国心教育」と侵略戦争 — 東アジア教育文化学会第五回国際学術フィールドワークから	季刊教育法	エイデル研究所	161		6	106-113	
岩崎正吾	多民族・多言語国家における教育の現状と課題 — ロシア、中国、スリランカ(1) ロシア・タタールスタン共和国を事例として	季刊教育法	エイデル研究所	162		9	74-80	
トクタホ	多民族・多言語国家における教育の現状と課題(2) — ロシア、中国、スリランカ 中国内モンゴル自治区を事例として	季刊教育法	エイデル研究所	163		12	80-85	
田村慶子	南洋大学の創設 — 「権力に祝福されない大学」の誕生	北九州市立大学法政論集	北九州市立大学法学会	37	1	6	53-79	
田村慶子	南洋大学学位承認問題 — プレスコット評議会報告書とギヤー委員会報告書を中心に	北九州市立大学法政論集	北九州市立大学法学会	37	2	10	251-272	
森澤久雄	朝鮮時代の初等教育・書堂について — 下伊那郡(長野県)の寺子屋との類似性、 相違性を探りながら	岐阜女子大学地域文化研究	岐阜女子大学	26		3	42-27	
久保田優子	第一次朝鮮教育令期の日本語(国語)教育について — 普通学校を中心に	九州産業大学国際文化学部 紀要	九州産業大学国際文化学会	42		3	257-276	D*
山室信一	国民帝国・日本の展開と学知の位相	九州史学	九州大学国史学研究会	152		1	27-38	
黄東蘭	清末・民国期地理教科書の日本像	紀要 地域研究・国際学編	愛知県立大学外国語学部	41		3	67-84	
鶴殿倫次	対外中国語教育の変貌 — 国際化と中華民族主義	紀要 言語・文学編	愛知県立大学外国語学部	41		3	279-296	
大塚豊	[書評] 王傑杰著、『中国高等教育の拡大と教育機会の変容』, 東信堂刊, 2008 年2月発行, A5判, 206頁, 本体価格3,900円	教育學研究	日本教育学会	76	1	3	119-122	D
下司晶	[書評] 藤川信夫編著、『教育学における優生思想の展開 歴史と展望』, 勉誠出版 刊, 2008年6月発行, A5判, 480頁, 本体価格14,000円	教育學研究	日本教育学会	76	1	3	127-129	D
孫邦華/孫邦華、于臣、 潘静、桂燕玉、牧野篤訳 /土方苑子整序	[大会要旨] 中国教育の近代化過程における中国化とアメリカ化、ヨーロッパ化の争 い — 国際連盟調査団報告書『中国教育の革新』(1932年)の分析を中心に (特別課題研究II 教育研究における東アジアの歴史認識)	教育學研究	日本教育学会	76	1	3	76-86	D
石中英、謝維和、陸有銓、 勞凱声	[大会要旨] 中国における教育改革と教育学研究の現状と課題 — 日中教育学対話 の深化・拡大をめざして (公開シンポジウムI, 日本教育学会第67回大会報告)	教育學研究	日本教育学会	76	1	3	97-101	D
影山礼子	[書評] 于臣著、『渋沢栄一と<義利>思想 近代東アジアの実業と教育』, ぺりかん 社刊, 2008年3月発行, 四六判, 306頁, 本体価格3,800円	教育學研究	日本教育学会	76	2	6	235-237	D
新保敦子	[書評] 諏訪哲郎・王智新・斉藤利彦編著、『沸騰する中国の教育改革』, 東方 書店刊, 2008年12月発行, A5判, 301頁, 本体価格3,200円	教育學研究	日本教育学会	76	4	12	464-465	D
劉国彬	「蒙藏教育」における言語問題 — 中華民国成立から日中戦争前夜まで	教育学研究紀要	中国四国教育学会	55	1	3	379-384	
鈴木正弘	中華民国成立期における教科書制度の再建	教育学研究ジャーナル	中国四国教育学会	5		3	51-59	
賈燕妮	[修論概要] 中国における学校と社区との連携に関する研究 — 思想道德教育に 注目して	教育学論集	筑波大学大学院人間総合科学研究科教育 学専攻	5		3	213-218	D
張瓊華	中国貧困地域における貧困と教育に関する考察 — 4つの貧困県の比較から	教育研究	国際基督教大学			3	115-124	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
大澤宏紀	朝鮮総督府による「朝鮮語」教育 ―第一次・第二次朝鮮教育令下の普通学校を中心に	教育史・比較教育論考	北海道大学大学院教育学研究院教育史・比較教育研究グループ	19		3	1-15	D
井上薫	大澤宏紀「朝鮮総督府による『朝鮮語』教育 ―第一次・第二次朝鮮教育令下の普通学校を中心に―」の意義と研究界の課題	教育史・比較教育論考	北海道大学大学院教育学研究院教育史・比較教育研究グループ	19		3	16-21	D
王鑫	日本における華僑学校の変遷とその地域的特徴 ―神戸中華同文学校と横浜山手中華学校を中心に	教育実践学論集	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科	10		3	125-133	
ユン・スアン	京城帝国大学における英文学の位置 ―佐藤清の英文学観を中心に	教育史フォーラム	教育史フォーラム・京都	4		3	3-25	
南部広孝	[書評] 王傑杰著『中国高等教育の拡大と教育機会の変容』 [東信堂, 2008]	教育社会学研究	日本教育社会学会	85		11	152-154	D*
小川佳万	[書評] 植村広美著『中国における「農民工子女」の教育機会に関する制度と実態』 [	教育制度学研究	日本教育制度学会	16		11	181-185	
植村広美	書評にお応えして	教育制度学研究	日本教育制度学会	16		11	186-191	
	第1部門収集資料 現代中国の義務教育学校における教科書に関する収集資料目録	教員養成カリキュラム開発研究センター研究年報	東京学芸大学	8		3	105-108	
朴眞秀	[観測点] 韓国 「教科書フォーラム」と歴史教育をめぐる葛藤	季論21	『季論21』編集委員会	3		1	209-212	
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (25) 「正しい日本語」の功罪	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	1	1		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (26) 続・「正しい日本語」の功罪	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	2	2		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (27) 日本語教科書の「虎の巻」	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	3	3		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (28) 「識字教育」の明暗	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	4	4		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (29) 社会教育の中の日本語教育	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	5	5		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (30) 「兵隊先生」の日本語教育	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	6	6		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (31) 日本語教科書の教師用指導書	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	7	7		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (32) 「皇民錬成」の中の日本語教育	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	8	8		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (33) 日本語教師の戦前・戦中・戦後	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	9	9		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (34) 日本語教育史研究上の問題点	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	10	10		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (35) 日本語教育史研究上の問題点 [2]	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	11	11		
前田均	日本語教育の歴史、その光と陰 (最終回) 歴史認識の共有より歴史資料の共有を	グローバル天理	天理大学おやさと研究所	10	12	12		
細井和彦	日中戦争時期の中華民国陸軍大学	軍事史学	軍事史学会	45	3	12	47-68	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
熟美保子	上海東洋学館と「興亜」意識の変化 ―杉田定一を中心に	経済史研究	大阪経済大学日本経済史研究所	12		2	137-156	
李正連	近代韓国における社会教育の成立と展開	月刊社会教育	国土社	53	1	1	69-74	
徐賢燮	中国の中学校歴史教科書に見る日本のイメージ	研究紀要	長崎県立大学国際情報学部	10		12	263-275	D
高野暁子	[書評] 于臣『渋沢栄一と<義利>思想近代東アジアの実業と教育』	研究室紀要	東京大学大学院教育学研究科教育学研究室	35		3	145-150	D
岡田泰平	植民地と英語 ―「言語帝国主義」論から見たアメリカ植民地期フィリピンにおける英語認識	言語社会	一橋大学大学院言語社会研究科	3		3	263-278	
本田弘之	中国朝鮮族による日本語教育の「再開」	言語政策	日本言語政策学会	5		3	1-20	
泉史生	『日本語教授書』 ―植民地台湾における最初の日本語教授用図書	言語と交流	言語と交流研究会	12		6	1-17	
植田晃次	日本近現代朝鮮語教育史と相場清	言語文化研究	大阪大学大学院言語文化研究科	35		3	1-20	D
A. ディボフスキー	極東ロシアにおける日本研究と日本語教育の行方 ―東洋学院(1899-1920)の日本学を中心に	言語文化研究	大阪大学大学院言語文化研究科	35		3	95-117	D
生田美智子	日本統治下ハルビンにおける「二つのロシア」 ―ソビエトロシアと亡命ロシア	言語文化研究	大阪大学大学院言語文化研究科	35		3	179-197	D
齋藤尚文	摂政宮台湾行啓の研究 ―学校行啓の実際とその意義	現代台湾研究	台湾史研究会	36		9	24-45	
何義麟	[書評] 宮崎聖子著『植民地期台湾における青年団と地域の変容』	現代台湾研究	台湾史研究会	36		9	64-67	
近藤正己	[書評] 北村嘉恵著『日本植民地下の台湾先住民教育史』を読む	現代台湾研究	台湾史研究会	36		9	68-72	
山崎直也	[書評] 中川仁著『戦後台湾の言語政策 ―北京語同化政策と多言語主義』〔東方書店, 2009〕	現代台湾研究	台湾史研究会	36		9	80-85	
金奈英	在台湾朝鮮人の教育状況 ―日本統治後の教育機関及び教育を中心に	現代中国事情	日本大学国際関係学部中国情報センター	24		3	125-141	
磯貝(生田)真澄	ロシア帝政末期ムスリム知識人による女性をめぐる議論 ―雑誌『スユム・ピケ(Suyum Bika)』(カザン、1913-1918)を中心に	神戸大学史学年報	神戸大学史学研究会	24		6	1-32	
K.K. タマラ・ジャヤラタ	スリランカのイギリス植民地期における教育 ―教育言語政策を中心に	語学教育研究論叢	大東文化大学語学教育研究所	26		1	397-416	D*
伊藤龍平	昔話唱歌・唱歌劇と植民地下台湾の国語教育	國學院雑誌	國學院大學総合企画部	110	11	11	421-433	
佐渡島紗織	[書評] 村上呂里著, 『日本・ベトナム比較言語教育史 ―沖縄から多言語社会をのぞむ』, 2008年2月29日刊, 明石書店, A5判, 455頁	国語科教育	全国大学国語教育学会	66		9	84-86	D
稲葉継雄	裡里農林学校について ―在朝鮮「内地人」学校の事例研究	国際教育文化研究	九州大学大学院人間環境学研究院国際教育文化研究会	9		6	17-37	
有松しづよ	植民地朝鮮の大和塾と日本語教育	国際教育文化研究	九州大学大学院人間環境学研究院国際教育文化研究会	9		6	83-94	
山下達也	植民地朝鮮における「内地」教育 ―初等学校「修身科」を中心に	国際教育文化研究	九州大学大学院人間環境学研究院国際教育文化研究会	9		6	113-124	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
アナトラ・グリジャンティ	中国の少数民族双語教育における母語の位置づけ — 新疆ウイグル自治区の民族教育をめぐる	国際教育文化研究	九州大学大学院人間環境学研究院国際教育文化研究会	9		6	125-137	
尹虎	「満州国」における在満朝鮮人指導方針と「民族協和」	国際日本学論叢	法政大学大学院 国際日本学インスティテュート専攻委員会	6		3	39-61	
宋安寧	1939(昭和14)年の「小学校教員満州国及中華民国視察」に関する研究	国際文化学	神戸大学国際文化学会	20		3	51-66	
井上和枝	朝鮮時代士族女性の儒教的教養とその主体的内面化 — 女性による女訓書を中心に	国際文化学部論集	鹿児島国際大学国際文化学部	9	4	3	175-192	
ミヤ・ドゥイ・ロスティカ	20世紀初頭におけるインドネシア国民形成期の女子教育 — カルティニとその時代背景	国士館大学大学院政経論集	国士館大学政経学会	12		3	125-151	
張迪	近代中国における日本書籍の翻訳と紹介 — 19世紀末から20世紀初頭の概況とその特徴	言葉と文化	名古屋大学大学院国際言語文化研究科 日本語文化専攻	10		3	197-209	
信澤淳	インド公共教育委員会の公教育像 一八三五～三八年 — マコーリーのインド教育覚書群を手がかりに	駒澤大学大学院史学論集	駒澤大学大学院史学会	39		4	69-82	
小野容照	福音印刷合資会社と在日朝鮮人留学生の出版史(一九一四～一九二二)	在日朝鮮人史研究	在日朝鮮人史研究会	39		10	5-28	
嶺崎寛子	イスラーム言説にみるジェンダー戦略と権威 — 現代エジプトの女性説教師を事例にして	ジェンダー研究	お茶の水女子大学ジェンダー研究センター	12		3	77-91	
矢久保典良	[書評] 坂本勉編『日中戦争とイスラーム — 満蒙・アジア地域における統治・懐柔政策』	史学	慶應義塾大学文学部内三田史學會	77	4	3	83-90	D
大浜郁子	[大会報告] 近代日本の植民地教育政策の形成と官僚制 — 台湾公学校令(勅令)の制定過程を中心に	史学雑誌	財団法人史学会	118	1	1	125	D*
蔡蕙光	[大会報告] 大正期日本における「人材派遣」 — 台湾総督府による中国華南への教師派遣	史学雑誌	財団法人史学会	118	1	1	125-126	D*
蔡蕙光	[書評] 駒込武・橋本伸也編、『帝国と学校』(叢書・比較教育社会史), 昭和堂, 2007年, A5, 380頁, 4200円	史学雑誌	財団法人史学会	118	1	1	139-141	D*
倉田明子	[書評] 富坂キリスト教センター編、『原典 現代中国キリスト教資料集 — プロテスタント教会と中国政府の重要文献1950～2000』, 新教出版社, 2008年, 944頁, 12000	史学雑誌	財団法人史学会	118	1	1	144-145	D*
梅村尚樹	宋代地方官学の興起とその象徴 — 文翁・常袞の顕彰を手がかりに	史学雑誌	財団法人史学会	118	6	6	1109-1143	D*
小林信介	信濃教育会による満蒙開拓青少年義勇軍送出背景の検証(上)	信濃 [第3次]	信濃史学会	61	7	7	505-522	
小林信介	信濃教育会による満蒙開拓青少年義勇軍送出背景の検証(下)	信濃 [第3次]	信濃史学会	61	8	8	601-614	
坂本慎一	[書評] 于臣『渋沢栄一と<義利>思想 近代東アジアの実業と教育』	渋沢研究	渋沢研究会	21		1	91-97	
水谷智	<比較する主体>としての植民地帝国 — 越境する英領インド教育政策批判と東郷實	社会科学	同志社大学	85		11	1-29	D
相澤里沙	[大会要旨] 蘭領インドネシアをめぐる学知の形成	宗教研究	日本宗教学会	82	4	3	501-502	D
澤田彰宏	[大会要旨] インドの公教育における宗教的要素 — 初等教育教科書の分析	宗教研究	日本宗教学会	82	4	11	1347-1349	D

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
牧野篤	「過去」の架橋と対話に関する教育学的可能性 — 歴史認識の対立を媒介とした日中の和解に向けて	生涯学習・社会教育学研究	東京大学大学院教育学研究科東京大学教育学研究科生涯学習基盤経営コース	33		3	13-21	
長田彰文	日本の朝鮮統治における「皇民化政策」と在朝米国人宣教師への圧力・追放 — 神社参拝問題を中心に	上智史学	上智大学史学会	54		11	1-30	
	国際シンポジウム 植民地教科書と国定教科書 — 何を教え、何を教えなかったか	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	6-59	
上田嵩仁	朝鮮総督府「国語読本」と国定「国語読本」の比較 — 挿絵のみの教材に見られる特徴	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	6-14	
蔡錦堂	戦時期台湾の公学校国語教科書と日本の国定国語教科書との比較	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	15-25	
金京美著/佐野通夫訳	1940年代朝鮮総督府「国史」教科書と日本国定「歴史」教科書の比較	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	26-37	
槻木瑞生	満洲の教科書	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	38-47	
佐藤由美	シンポジウムのまとめ (国際シンポジウム 植民地教科書と国定教科書 — 何を教え、何を教えなかったか)	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	48-59	
山下達也	植民地朝鮮における教員の位置づけ再考	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	62-81	D
三橋広夫	[翻訳] 『韓国の小学校歴史教科書 — 初等学校国定社会・社会科探究』	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	84-89	
陳虹彪	[研究資料] 台湾総督府編修官加藤春城の「自伝畧叙」 — 戦前文部省・台湾総督府・朝鮮総督府発行教科書の発行年比較	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	90-108	
白柳弘幸	[研究資料] 戦前文部省・台湾総督府・朝鮮総督府発行教科書の発行年比較	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	109-127	
李省展、佐藤由美	[研究資料] 在日コリアン一世の学校体験 — 呉炳学氏の場合	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	128-143	
丸山剛史	[研究資料] 宇都宮大学所蔵「満洲国」技術員・技術工養成関係史料目録 — 解説と凡例	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	144-157	
白柳弘幸	[旅の記録] 「台湾教育史遺構調査」台中県清水国民小学「誠之字石碑」と台北県板橋国民小学「枋橋建学碑」	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	160-165	
梶村光郎	[書評] 近藤健一郎著『近代沖縄における教育と国民統合』[北海道大学出版会, 2006]を読んで	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	168-173	
大串隆吉	[書評] 宮崎聖子著『植民地台湾における青年団と地域の変容』	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	174-178	
渡部宗助	[書評] 山路勝彦著『近代日本の植民地博覧会』[風響社, 2008]	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	179-185	
大東仁	[書評] 木場明志、程舒偉著『日中両国の視点から語る植民地期満洲の宗教』[柏書房, 2007]	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	186-191	
中田敏夫	[気になるコトバ] 民度	植民地教育史研究年報	日本植民地教育史研究会運営委員会	11		6	194-197	
波田野節子	朝鮮文学者たちの日本留学 — 一九一〇年代までを中心に	植民地文化研究	植民地文化研究会	8		7	21-26	
谷本澄子	[記事目録] 『哈爾濱日日新聞』文化系主要目次(1) 自1934年12月2日(第4035号) 至1937年4月27日(第4872号)	植民地文化研究	植民地文化研究会	8		7	98-107	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
齋藤秀昭	[記事目録] 『満洲新聞』文芸主要目次(3) 自1939年9月1日(第9553号)至1940年3月31日(第9764号)	植民地文化研究	植民地文化研究会	8		7	108-117	
城間正人	[記事目録] 『興農』(日本語版全五三冊)細目(3) 自1941年12月 至1942年5月	植民地文化研究	植民地文化研究会	8		7	118-123	
小林善文	南洋華僑陳嘉庚の興学事業	神女大史学	神戸女子大学史学会	26		11	1-22	
大里浩秋	[購入図書解題] 『中国教育年鑑』『中国教育統計年鑑』	人文学研究所報	神奈川大学	42		3	122	
	特集 戦争責任と植民地支配認識 —教育と研究の架橋にむけて	人民の歴史学	東京歴史科学研究会	181		9	11-29	
金富子	植民地教育の実相から植民地認識を問い直す —教育版「植民地近代化論」を再考する	人民の歴史学	東京歴史科学研究会	181		9	11-21	
今野日出晴	コメント 誰が何をどのようにしてつなげるのか	人民の歴史学	東京歴史科学研究会	181		9	22-26	
	討論要旨	人民の歴史学	東京歴史科学研究会	181		9	27-29	
金紅梅	中国朝鮮族学校における外国語教育の展開について	政策科学	立命館大学政策科学会	16	2	2	51-63	
塚田絵里奈	後期マムルーク朝社会におけるワーイズの実像 —人気説教師クドゥスィーの場合	西南アジア研究	西南アジア研究会	71		9	28-43	
	小特集 植民地における生物学研究	生物学史研究	日本科学史学会生物学史分科会	82		7	89-107	
文晩龍著/宮川卓也訳	国籍をもつ科学? —「朝鮮的生物学者」石宙明のチョウ分類学	生物学史研究	日本科学史学会生物学史分科会	82		7	89-103	
岡本幸治	現代アジアと私(5) 占領下の小学校教育	世界思想	世界思想出版	35	5	5	38-41	
宮原佳昭	民国初期における湖南省教育会の職員選挙と「民意」	孫文研究	孫文研究会	46		9	40-57	
山本直子	インド人はイギリス人になれるのか —Seetaにおけるインド人の英語教育と擬態	大会proceedings	日本英文学会	81		5	95-97	
竹熊尚夫	多民族社会の教育研究における民族教育制度の視座 —比較教育学的考察	大学院教育学研究紀要	九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門	11	54	3	45-60	D
稲葉継雄	朝鮮総督府学務局長・学務課長の人事	大学院教育学研究紀要	九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門	11	54	3	61-98	D
坂元一光、アナトラ・グリ ジャンナティ	新疆ウイグル社会の女兒に関する産育及び教育 —中国少数民族の子どもとジェンダー	大学院教育学研究紀要	九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門	11	54	3	151-165	D
呉天泰著/石丸雅邦訳	[書評] 北村嘉恵著、『日本植民地下の台湾先住民教育史』, 北海道大学出版会, 2008年2月, 392頁, 6720円	台湾原住民研究	台湾原住民研究会	13		11	194-196	
小川正恭	[書評] 北村嘉恵著、『日本植民地下の台湾先住民教育史』, 北海道大学出版会, 2008年2月, 392頁, 6720円	台湾原住民研究	台湾原住民研究会	13		11	197-198	
山路勝彦	絵葉書の民族誌、あるいは植民地の表情 —皇民化時代、先覚者の描いた台湾ツォウ族の自画像	台湾原住民研究	台湾原住民研究会	13		11	76-93	
槻木瑞生	戦前「外地」における郷土教育	玉川大学教育博物館紀要	玉川大学教育博物館	6		3	35-41	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
金恩淑	韓国人の日本認識と歴史教育	探究	愛知教育大学社会科教育学会	20		2	6-13	
楊孟哲	日本時代台湾美術教育の研究 ―日本人美術教育の始まり	地域研究	沖縄大学地域研究所	5		3	33-48	
笠原十九司	消えた村の小学校の記録 ―1990年代前半華北農村調査より (特集 近現代中国の農村社会)	近きに在りて	野沢豊	55		5	21-32	
趙軍	中国の歴史社会教育における日本イメージの形成と変遷について ―「抗戦映画」等文芸作品を中心として	千葉商大紀要	千葉商科大学	47	1	9	15-36	D*
劉穎、鷺尾紀吉	中国基礎教育改革の政治経済学的思考	中央学院大学商経論叢	中央学院大学	23	2	3	31-36	D
楊東平著／磯部美里訳	中国における高等教育の不平等とその是正	中国21	風媒社	30		1	131-154	
三ツ井崇	「言語問題」からみた朝鮮近代史 ―教育政策と言語運動の側面から	中国21	風媒社	31		5	285-306	
吉岡肇	満州国の学校で学んだ人々 ―私の出会った中国朝鮮族	中国21	風媒社	31		5	333-342	
石田卓生	東亜同文書院の中国語教材 ―『華語萃編』以前について	中国21	風媒社	32		12	157-174	
尹紅花	中国朝鮮族の漢語教育に関する研究 ―延辺朝鮮族を事例として	中国研究	麗澤大学中国研究会	17		12	53-68	
石田卓生	東亜同文書院の北京移転構想について	中国研究月報	社団法人中国研究所	63	2	2	17-33	D
川島真	蒋介石の高田時代	中国研究月報	社団法人中国研究所	63	3	3	51-52	D
劉文君	[書評] 南亮進・牧野丈夫・羅欽鎮著, 東洋経済新報社, 『中国の教育と経済発展』, 2008年7月刊, 272ページ, 税込3,990円	中国研究月報	社団法人中国研究所	63	6	3	48-50	D
張玉萍	戴季陶の日本留学	中国研究月報	社団法人中国研究所	63	7	3	13-29	D
中村みどり	[書評] 巖安生著, 岩波書店, 『陶晶孫 その数奇な生涯-もう一つの中国人留学精神史』, 2009年3月, 405ページ, 税込3,780円	中国研究月報	社団法人中国研究所	63	10	3	39-41	D
大村益夫	[書評] 野間秀樹編著『韓国語教育論講座 第4巻』	朝鮮学報	朝鮮学会	210		1	129-133	
原智弘	植民地期朝鮮における朝鮮人の公立普通学校就学要因分析 ―学校増設計画と経済的要因を中心に	朝鮮学報	朝鮮学会	210		1	95-128	
王耀徳	日本統治期台湾人入学制限のメカニズム	天理台湾学会報	天理台湾学会	18		7	35-52	
川瀬健一	日本時代に台湾で上映された映画 ―1937年(昭和12年)～1938年(昭和13年)総目録	天理台湾学会報	天理台湾学会	18		7	79-130	
前田均	[紹介] 中川仁『戦後台湾の言語政策 ―北京語同化政策と多言語主義』	天理台湾学会報	天理台湾学会	18		7	131-132	
島崎恵理子、関正昭	芦田恵之助編纂『普通学校国語読本』の二面性 ―日本語教育と国語教育双方の視点からの分析・考察	東海大学紀要 留学生教育センター	東海大学留学生教育センター	29		3	31-50	
河路由佳	戦時中の鈴木忍・高橋一夫と日本語教育 ―1974年の座談会録音テープより(1)	東京外国語大学論集	東京外国語大学	78		7	303-316	D

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
河路由佳	戦後(1945-1974年)の高橋一夫・鈴木忍と日本語教育 —1974年の座談会録音テープより(2)	東京外国語大学論集	東京外国語大学	79		12	415-434	D
田村紀雄	建国大学時代の井口一郎 —新聞学から弘報論へ	東京経済大学人文自然科学論集	東京経済大学	127		3	127-142	D
桂燕玉	梁啓超の家庭教育論 —「趣味」による素質の開発を中心に	東京大学大学院教育学研究科紀要	東京大学大学院教育学研究科東京大学大学院教育学研究科教育学コース	48		3	13-21	D
夏芸	中国における民弁高等教育機関経営に関する実証的研究 —湖南省の事例分析を中心に	東京大学大学院教育学研究科教育行政学論叢	東京大学大学院教育学研究科東京大学大学院教育学研究科教育学コース	28		3	1-18	D
横田素子	モンゴル学術交流祭06 —1906年におけるモンゴル人学生の日本留学	東西南北	和光大学総合文化研究所	2009		11	155-172	D
高嶋朋子	大正期「在台内地人」教育に関する一考察 —台湾高等小学校による中等教育機関の補完と実業教育路線への変更について	同志社女子大学大学院文学研究科紀要	同志社女子大学大学院文学研究科	9		3	97-117	
高田時雄	清末の英語学 —鄭其照とその著作	東方学	東方学会	117		1	1-19	
平中里弥	シンガポール中等教育における「宗教知識科」導入の論理 —その正当性と宗教的中立性をめぐる議論に着目して	東北大学大学院教育学研究科研究年報	東北大学教育学部	57	2	6	343-358	D
森山央朗	「地方史人名録」伝記記事の特徴と性格 —中世イスラーム世界のウラマーが編んだ地域別人物記録の意図	東洋学報	東洋文庫	90	4	3	440-413	
アナトラ・グリジャンティ	中国における少数民族双語教育に関する研究 —多言語共生の視点から	飛梅論集 九州大学大学院教育学コース院生論文集	九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻教育学コース	9		3	17-32	D
宮前奈央美	モンゴルにおける社会体制移行と教育政策の課題	飛梅論集 九州大学大学院教育学コース院生論文集	九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻教育学コース	9		3	89-107	D
山田美香	日本占領時期香港の教育	名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究	名古屋市立大学大学院人間文化研究科	12		12	113-125	
Ramli Murni	共産主義の影響下におけるインドネシアの中等教育概念に関する研究 —1965年パンチャシラ教育制度法に着目して	名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	56	1		69-79	
石村雅雄、Tran Thi Ngoc 訳	2005年ベトナム教育法 —翻訳と解説	鳴門教育大学国際教育協力研究	鳴門教育大学教員教育国際協力センター	4		7	71-89	
楊羽	近代中国の教科書からみた「中華民族」の成立 —清末民初における歴史教科書の編纂を中心に	南山考人	南山考古文化人類学研究会	37		3	45-61	
小野容照	在日朝鮮人留学生卞熙塔の軌跡 —在日朝鮮人社会主義運動史研究のための一視座(小特集 三・一運動前後の朝鮮と日本)	二十世紀研究	二十世紀研究編集委員会	10		12	43-66	
宮崎満	[書評] 植村広美著『中国における「農民工子女」の教育機会に関する制度と実態』(風間書房、2009年2月)	日中社会学研究	日中社会学会	17		10	171-173	
李明伍	[書評] 『渋沢栄一と〈義利〉思想 —近代東アジアの実業と教育』(于臣著、ぺりかん社、2008年)	日中社会学研究	日中社会学会	17		10	174-176	
山崎光夫	[大会要旨] 森鷗外と医学留学生たちの交流(日本医史学会平成20年11月例会 シンポジウム「森林太郎と森鷗外」)	日本医史学雑誌	日本医史学会	55	1	3	108-110	D*
翟高燕	[大会要旨] 少数民族におけるリテラシー教育 —中国の高等教育を中心に	日本教育学会大会研究発表要項	日本教育学会	68		8	212-213	D
仲田陽一	[大会要旨] 中国農村教育改革と教育格差問題 —「改革開放」後の農村義務教育財政改革を中心に(世界の教育改革動向、テーマ型研究発表1)	日本教育学会大会研究発表要項	日本教育学会	68		8	324-325	D

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻 号 通号	月	頁	Web
岩田康之	[大会要旨] 東アジア地域における高等教育の展開と教師教育改革の動向 — 日本・中国(本土)を中心として (教師教育改革の動向(1), テーマ型研究発表I)	日本教育学会大会研究発表要項	日本教育学会	68	8	396-397	D
リークリスティン・キムエン	[大会要旨] シンガポールの社会変化と教育改革 (東アジアの社会変動と教育改革 — 中国・韓国・シンガポール, 国際シンポジウム)	日本教育学会大会研究発表要項	日本教育学会	68	8	84-85	D
呉成哲	[大会要旨] 東アジア近代教育比較史の可能性探索のための試論 — 植民地朝鮮の普通学校、書堂、各種学校と近代日本の小学校、各種学校 (教育研究における東アジアの歴史認識, 特別課題研究111)	日本教育学会大会研究発表要項	日本教育学会	68	8	124-125	D
山田昭次	[書評] 白取道博『満蒙開拓青少年義勇軍史研究』	日本教育史研究	日本教育史研究会	28	10	129-138	
白取道博	書評を読んで	日本教育史研究	日本教育史研究会	28	10	135-138	
高鐫著/高吉嬉訳	韓国における教育政策と研究の動向 (内外の教育政策・研究動向)	日本教育政策学会年報	日本教育政策学会	16	7	188-202	
下岡友加	雑誌『台湾愛国婦人』の史的位 置 — 新資料・第六十巻を中心に	日本研究	日本研究研究会	22	5	1-11	D
中村重穂	日中戦争期華北占領地に於ける日本軍兵士による日本語教育の再構成の試み — 公文書と戦争体験記に基づいて	日本語教育	日本語教育学会	141	4	25-35	
酒井順一郎	満洲國政府語學検定試験の歴史的意味 — 日本語試験を中心として	日本語教育	日本語教育学会	142	7	123-133	
河西晃祐	[書評・研究動向] 『日本植民地研究の現状と課題』と『イギリス帝国と20世紀』	日本植民地研究	日本植民地研究会	21	6	43-55	
秋山淳子	[書評] 田中隆一著『満洲国と日本の帝国支配』	日本植民地研究	日本植民地研究会	21	6	56-60	
上野雅由樹	19世紀オスマン帝国のアルメニア共同体における学校教育の普及過程	日本中東学会年報	日本中東学会	25	7	141-164	D
朴憲郁	韓国の戦後史における道徳教育・宗教教育の過去と現在 (戦後史における<価値教育> — 宗教教育・道徳教育の過去と現在, (2)シンポジウ	日本の教育史学	教育史学会	52	10	119-124	
木山徹哉	[研究動向] 東洋教育史の研究動向	日本の教育史学	教育史学会	52	10	155-161	
佐藤広美	[書評] 白取道博著, 『満蒙開拓青少年義勇軍史研究』, 北海道大学出版会, 2008年2月, 255頁, 6720円	日本の教育史学	教育史学会	52	10	181-184	
小川正人	[書評] 北村嘉恵著, 『日本植民地下の台湾先住民教育史』, 北海道大学出版会, 2008年2月, 392頁, 6720円	日本の教育史学	教育史学会	52	10	189-192	
牧野篤	[書評] 宮崎聖子著, 『植民地期台湾における青年団と地域の変容』, 御茶の水書房, 2008年3月, 494頁, 7980円	日本の教育史学	教育史学会	52	10	192-195	
池田裕子	樺太庁師範学校における樺太史教育	日本の教育史学	教育史学会	52	10	43-55	
山本一生	帝国日本内を移動する教員	日本の教育史学	教育史学会	52	10	69-81	
信澤淳	1840年代のマコーリーの公教育観 — State EducationとNational Educationの関係性の視点から	日本の教育史学	教育史学会	52	10	82-94	
烏力更	仏教がモンゴル民族の教育に与えた影響	日本仏教教育学研究	日本仏教教育学会	17	3	129-133	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
川島淳	[書評と紹介] 北村嘉恵著『日本植民地下の台湾先住民教育史』	日本歴史	吉川弘文館	733		6	124-126	
菊池一隆	「大東亜共栄圏」下の南洋華僑教育 — マラヤ・「昭南」(シンガポール)を中心に	人間文化	愛知学院大学人間文化研究所	24		9	13-37	
鈴木直子	汪笑儂と天津戯劇改良社 — 民国初期の通俗教育の一環としての戯曲改良	人間文化創成科学論叢	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科	11		3	1-10	D
三ツ井崇	朝鮮総督府「諺文綴字法」の歴史的意味・再論	年報 朝鮮学	九州大学朝鮮学研究会	12		5	1-29	
小川佳万	台湾における原住民教育の可能性 — 多文化社会の象徴としての学校	比較教育学研究	日本比較教育学会	39		6	59-73	
牛尾直行	[書評] 畠博之著『ネパールの被抑圧者集団の教育問題 — タライ地方のダリットとエスニック・マイノリティ集団の学習阻害/促進要因をめぐって』,学文社, 2007年12月, 561頁	比較教育学研究	日本比較教育学会	39		6	180-182	
楠山研	[書評] 丁妍著『現代中国の中等職業教育 — 市場経済移行期における技術労働者学校の変容』,ブイツーソリューション, 2008年6月, 203頁	比較教育学研究	日本比較教育学会	39		6	186-188	
石田憲司	引心書院と二つの呂祖廟 — 台湾南部の書院と信仰に関する事例研究	比較文化史研究	比較文化史学会	10		12	123-134	
鈴木正弘	伝統教科書の歴史叙述と漢訳歴史教科書 — 清末におけるナショナル・アイデンティティの萌芽	比較文化史研究	比較文化史学会	10		12	135-155	
大平聡	留学生・僧による典籍・仏書の日本招来 — 吉備真備・玄昉・審祥	東アジア世界史研究センター年報	専修大学社会知性開発研究センター東アジア世界史研究センター	2		3	129-148	
皆川雅樹	「ヒト・モノ・情報」の交流と遣唐使研究	東アジア世界史研究センター年報	専修大学社会知性開発研究センター東アジア世界史研究センター	3		12	7-16	
原豊二	遣唐留学生像の受容と変遷 — 「七絃琴」と「東アジア」を意識しつつ	東アジア世界史研究センター年報	専修大学社会知性開発研究センター東アジア世界史研究センター	3		12	35-50	
ジェニー・ヒートン	日本台湾統治初期下の教育 — 伊沢修二と芝山巖学堂	東アジア文化環流	関西大学アジア文化交流研究センター	2	2	7	75-92	
沈国威	日本発近代知への接近 — 梁啓超の場合	東アジア文化交渉研究	関西大学	2		3	217-228	D
佐藤実	近世における中国ムスリムの初等教育 — 『天方三字経』初探	東アジア文化交渉研究	関西大学	2		3	233-244	D
木村自	中国雲南省における経堂教育 — 山県永建鎮を中心に	東アジア文化交渉研究	関西大学	2		3	245-258	D
三宅美穂	中華民国初期の児童雑誌『小朋友』と海外作品の受容	東アジア文化交渉研究	関西大学	2		3	423-441	D
吾妻重二	江戸初期における学塾の発達と中国・朝鮮	東アジア文化交渉研究	関西大学	2		3	47-66	D
増田周子	教育者としての坪内逍遙にみる東アジアの知的伝統	東アジア文化交渉研究	関西大学	2		3	67-80	D
于臣	近代日中両国の商業教育の特徴に関する一考察 — 福沢諭吉の教育構想における「公・私」観を中心に	東アジア文化交渉研究	関西大学	2		3	81-93	D
	文化交渉学教育研究拠点(ICIS) 第2回国際シンポジウム 文化交渉学の構築(1) '西学東漸'と東アジアにおける近代学術の形成	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	4		3	巻頭1-4, 図	D

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
吾妻重二	はしがき	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	i-iii	D
吾妻重二	はじめに	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	3-5	D
吾妻重二	『朱子語類』巻第八十四 礼一 論考礼綱領(礼の綱領に関する考察)	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	7-26	D
城山陽宣	『朱子語類』巻第八十五 礼二 儀礼 総論	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	27-43	D
井澤耕一	『朱子語類』巻第八十六 礼三 周礼 総論	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	44-57	D
白井順、秋岡英行	『朱子語類』巻第八十七 礼四 小戴礼 総論 礼運	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	58-87	D
緒方賢一、山田明広	『朱子語類』巻第八十九 礼六 冠昏喪 総論 喪	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	88-101	D
吾妻重二、佐藤実	『朱子語類』巻第九十 礼七 祭	東アジア文化交渉研究別冊	関西大学	5		3	102-122	D
鍋倉聰	中国東北地方の地方図書館における「旧満洲日本語文献」の現状	彦根論叢	滋賀大学経済学部	379		7	93-106	
山崎恵	台湾における言語教育政策とその現状	姫路独協大学外国語学部紀要	姫路独協大学外国語学部	22		3	95-109	
哈婧琦	[新刊紹介] 大里浩秋・孫安石『留学生派遣から見た近代日中関係史』	広島東洋史学報	広島東洋史学研究会	14		12	95-97	
鈴木文子	玩具と帝国 一趣味家集団の通信ネットワークと植民地	文学部論集	仏教大学学会	93		3	1-20	
山田寛人	『朝鮮文朝鮮語講義録』発行の背景 一朝鮮語学習に対する需要の変遷	北東アジア研究	島根県立大学北東アジア地域研究センター	17		3	135-155	
小林善帆	植民地台湾の高等女学校と礼儀作法空間 (特集 台湾の民族芸術)	民族芸術	民族芸術学会	25		3	91-97	
伊藤龍平	『公学校用國語讀本』の昔話資料 一日本統治下台湾の国語教科書と昔話(4)	昔話伝説研究	昔話伝説研究会	29		12	59-81	
小林馨	オスマン帝国における近代教育改革 一ガラタサライ校を中心に	明大アジア史論集	明治大学東洋史談話会	13		3	126-146	
吉田達矢	カラマン・トルコ語逐次刊行物『東方の諸学に関する学校』に関する一考察	明大アジア史論集	明治大学東洋史談話会	13		3	98-110	
沈昌求、孫一善、崔應七 ほか	近代以後日韓薬学交流史研究 一日本政府招請国費留学生を中心に	薬史学雑誌	日本薬史学会	44	1	6	24-30	D
石田純郎	韓国近代薬学教育史資料 一南韓併合時代を中心に	薬史学雑誌	日本薬史学会	44	1	6	31-37	D
張玉玲	独日の植民地支配と近代都市青島の誕生	山口県立大学学術情報	山口県立大学学術情報	2		3	52-70	D
田島大輔	「満洲国」初期の回民教育問題 一「満洲伊斯蘭協会」の事例を中心に	立命館東洋史學	立命館東洋史學會	32		7	63-85	
松田利彦	[書評] 田中隆一『満洲国と日本の帝国支配』[有志舎, 2007]	歴史学研究	青木書店	850		2	50-52	

著者名	論文名	掲載誌名	発行者名	巻	号 通号	月	頁	Web
廣岡浄進	[書評] 趙寛子『植民地朝鮮/帝国日本の文化連環 —ナショナリズムと反復する植民地主義』 [有志舎, 2007]	歴史学研究	青木書店	850		2	53-55	
志賀功	「日中戦争」をどう教えるのか (特集 都市・都城からみる中国)	歴史地理教育	歴史教育者協議会	741		3	32-37	
田所顕平	「満蒙入植」と紀南農業学校 —農業系実業学校の戦争加担	歴史地理教育	歴史教育者協議会	741		3	70-75	
村松邦崇	日本の金メダルを取った孫基禎 (もの・絵・写真を使ってこんな授業ができる)	歴史地理教育	歴史教育者協議会	747		7	94-97	
坂井俊樹	地域 日本から世界から(169) —揺れる韓国の歴史教育と新設「東アジア史」	歴史地理教育	歴史教育者協議会	748		8	86-91	
熊谷正秀	台湾との教育交流記	歴史と教育	自由主義史観研究会	132		4	18-21	
岡田泰平	他者としてのフィリピン人の形成 —フィリピン植民地教育をめぐる越境的な教育社会史の試み (特集 「他者教育」に見るアメリカ)	歴史評論	校倉書房	707		3	63-78	
辛珠柏/呉仁済訳	韓中日三国の高校世界史教科書における第二次世界大戦	歴史評論	校倉書房	715		11	69-86	
寺倉憲一	我が国における留学生受入れ政策 —これまでの経緯と「留学生30万人計画」の策定	レファレンス	国立国会図書館調査及び立法考査局	59	2	2	27-47	D
寺倉憲一	留学生受入れの意義 —諸外国の政策の動向と我が国への示唆	レファレンス	国立国会図書館調査及び立法考査局	59	3	3	51-72	D
胡学亮	清代中国における啓蒙私塾の発達とその性格	早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊	早稲田大学大学院教育学研究科	16	2	3	49-59	D
李恩珠	韓国の学歴社会と男尊女卑思想 —農村女性の識字問題を中心に	早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊	早稲田大学大学院教育学研究科	17	1	9	147-155	D

【注】インターネット上で入手可能な文献については、「Web」欄に「D」を記入した。ただし、2010年7月末までに確認できたものに限る。なお、現時点ではインターネット上での閲覧制限があり刊行後2～3年程度で公開予定のものについては「D\*」を記入した。

著者名	論文名	学位授与機関名	月	取得学位 (専攻分野)
<b>III. 博士論文</b>				
<b>a. 中国</b>				
胡学亮	近世中日両国の民衆教育に関する比較史的研究 — 両国民衆教育普及の相違とその要因の考察を中心に	早稲田大学	1	博士(教育学)
郭仁天	現代中国における高等教育財政制度に関する研究 — 1985年以降の高等教育財政改革を中心に	広島大学	3	博士(教育学)
原正人	近代中国知識人に関する一考察 — 研究系の思想と行動、1912～1929	一橋大学	3	博士(社会学)
宮原佳昭	清末民初中国における地方教育行政と教育会に関する研究	京都大学	3	博士(文学)
婭茹	中国・内モンゴル自治区における子どもの生活と遊び環境に関する研究	奈良女子大学	3	博士(学術)
<b>b. 台湾</b>				
(なし)				
<b>c. 朝鮮</b>				
金珽実	近代間島移住朝鮮民族に対する日本語教育の基礎的研究	九州大学	2	博士(比較社会文化)
関根明伸	韓国における道徳科成立過程の研究 — 1945年～1973年の「教育課程」および国定教科書を中心に	東北大学	3	博士(教育学)
原智弘	近代朝鮮における学歴主義の創出	九州大学	3	博士(文学)
<b>d. アジア全般</b>				
李基原	祖徠学の再構成と波紋 — 東アジア思想史への視野	京都大学	3	博士(教育学)

研究代表者	研究分担者	研究題目	研究期間	研究種目	研究分野
<b>IV. 科学研究課題</b>					
<b>a. 中国</b>					
小林敦子		中国少数民族女子青年の進路選択に関わる教育学的研究	2009-	基盤研究(C)	教育社会学
細井和彦		中国社会の近代化と陸軍大学校の人材養成システムとの関連性に関する研究	2009-	基盤研究(C)	東洋史
王雪萍		中国歴史教育に関する実証的研究 —1949年以降の教科書の歴史観・外国観を徹底分析	2009-	若手研究(B)	国際関係論
武小燕		改革開放後中国の愛国主義教育の現実と課題 —社会の近代化と徳育の機能をめぐって	2009-	特別研究員奨励費	教育社会学
松本ますみ		中国朝鮮族と回族の民族教育と民族アイデンティティ形成に関する総合的研究	2008-2009	基盤研究(B)	東洋史
竹元規人		1930年前後中国における歴史学の形成:学術の同時代思想史	2008-2009	若手研究(スタートアップ)	思想史
佐藤尚子		近代中国における日本留学帰国者の社会的活動	2007-2008	基盤研究(C)	教育学
今井航		中国各省における六・三・三制の採用と実施に関する歴史的研究	2007-2008	若手研究(B)	教育学
佐藤鍊太郎	弓巾和順、近藤浩之、水上雅晴、室谷邦之、名畑嘉則	科挙に関する文献学的総合研究	2006-2009	基盤研究(B)	中国哲学
三浦秀一	熊本崇、鶴成久章、大野晃嗣、渡辺健哉	思想史的社会史的史料としての科挙答案に関する基礎的研究	2006-2009	基盤研究(B)	中国哲学
山田美香		中国・台湾の教育近代化と少年犯罪 —近代日本の影響	2006-2009	若手研究(B)	教育学
島途健一	大村泉、窪俊一、花登正宏、阿部兼也、坂井建雄	魯迅『解剖学ノート』の解説に基づく、20世紀初頭の留学生教育に関する事例研究	2006-2008	基盤研究(B)	教育学
巖平		東アジアの教育近代化をめぐる「知」の交流 —日本派遣中国人留学生の視点から	2006-2008	特別研究員奨励費	教育学
<b>b. 台湾</b>					
山崎直也		台湾の小・中・高校教科書とナショナル・アイデンティティに関する包括的研究	2008-2009	若手研究(B)	教育社会学
北村嘉恵		台湾先住民の近代教育史に関する調査研究	2007-2009	若手研究(B)	教育学
中西美貴		植民地教育における権力のずらし —台湾高地先住民タイヤル族女性の植民統治経験	2007-2008	特別研究員奨励費	教育社会学
山本和行		台湾領有初期における植民地教育のプロトタイプ形成過程の研究	2007-2008	特別研究員奨励費	教育学
大谷渡		昭和前期日本の社会・文化史と台湾 —台湾知識人精神史の記録化	2006-2008	基盤研究(C)	日本史
<b>c. 朝鮮</b>					
佐野通夫		台湾・朝鮮における植民地教育政策策定過程の比較研究	2009-	基盤研究(C)	教育学

研究代表者	研究分担者	研究題目	研究期間	研究種目	研究分野
土井浩嗣		植民地期朝鮮における農業教育と勸農政策 —普通学校を中心に	2009-	若手研究(B)	農業経済学
植田晃次		学習書を通して見る近代日本における朝鮮語教育史の多元的・実証的研究	2008-2009	基盤研究(B)	外国語教育
長澤雅春		朝鮮総督府の「国語」普及政策と教科書編纂について	2008-2009	基盤研究(C)	日本文学
鄭世桓		朝鮮植民地期の朝鮮語奨励政策による朝鮮語教育の言語学的考察	2008-2009	若手研究(B)	言語学
金子満		植民地期における朝鮮民衆の学習・教育活動と地域社会の実相	2008-2009	若手研究(スタートアップ)	教育学
稲葉継雄		朝鮮植民地教育政策史の再検討 —実務担当者の具体的言動を中心として	2007-2009	基盤研究(C)	教育学
高吉嬉		朝鮮半島の分断と統一をめぐる日韓相互認識の現状と課題	2007-2009	基盤研究(C)	教育学
佐藤由美		植民地教育令の制定過程に関する研究 —台湾と朝鮮を比較して	2007-2009	基盤研究(C)	教育学
上田崇仁		植民地朝鮮におけるラジオ「国語(日本語)講座」の展開とその効果に関する研究	2007-2009	若手研究(B)	日本語教育
出羽孝行		中国朝鮮族と韓国間の教育交流の展開に関する研究	2007-2008	若手研究(スタートアップ)	教育社会学
藤井浩基		朝鮮総督府の音楽政策に関する研究 —1919~25年の『京城日報』の分析を中心に	2007-2008	基盤研究(C)	日本史
陳南澤		朝鮮総督府の言語政策と言語教育が現代韓国語の形成に及ぼした影響に関する実証的研究	2006-2009	基盤研究(C)	言語学
太田孝子	福田須美子	植民地下朝鮮からの女子内地留学生の研究	2006-2008	基盤研究(C)	教育社会学
松本武祝		植民地朝鮮における農業学校と地域社会 —裡里農林学校を中心に	2006-2008	基盤研究(C)	農業経済学
古川宣子		朝鮮の植民地初等学校 —慶尚北道における伝統教育からの移行過程研究	2006-2008	萌芽研究	東洋史
川原秀城		朝鮮思想と中国・ヨーロッパ —東アジア海域交流のなかで	2005-2009	特定領域研究	
<b>d. 東南アジア</b>					
山本博之	川島緑、富沢寿勇、服部美奈、床呂郁哉、河野毅	イスラム教圏東南アジアにおける学知の制度化と実践に関する総合的研究	2006-2008	基盤研究(B)	地域研究
玉木一徳	山崎功	「パンチャシラ」国学原理の「地域原理」としての再生への模索	2006-2008	基盤研究(C)	地域研究
<b>e. アジア全般</b>					
吾妻重二		東アジアにおける伝統教養の形成と展開に関する学際的研究 —書院・私塾教育を中心に	2009-	基盤研究(A)	中国哲学
大塚豊		アジアにおける華人ディアスポラの教育への関与に関する国際比較研究	2008-2009	基盤研究(B)	教育社会学
杉本均		トランスナショナル・エデュケーションに関する総合的国際研究	2008-2009	基盤研究(B)	教育社会学

研究代表者	研究分担者	研究題目	研究期間	研究種目	研究分野
長志珠絵		占領期・占領空間における戦争の文化的記憶に関する実証的研究	2008-2009	基盤研究(C)	思想史
松田利彦		植民地帝国日本と東アジアの知識交流 ―台湾と朝鮮の植民地期メディアを対象に	2007-2008	特別研究員奨励費	東洋史
吉田裕	糟谷憲一、池享、森武磨、渡辺治、李成市	日本・朝鮮間の相互認識に関する歴史的研究	2006-2009	基盤研究(A)	日本史
梅森直之	篠田徹、李成市、本野英一、坪井善明、若田部昌澄	帝国の遺産と東アジア共同体	2006-2009	基盤研究(B)	国際関係論
君塚仁彦	王智新、又吉盛清、趙軍、石純姫、蘇林	東アジアにおける戦争・植民地記憶の保存と表象に関する国際的総合研究	2006-2009	基盤研究(B)	史学一般
磯田一雄	槻木瑞生、華立、渡部宗助、前田均、内海愛子	植民地期東アジアの近代化と教育の展開 ―1930年代～1950年代	2006-2008	基盤研究(B)	教育学
井上健	菅原克也、今橋映子、杉田英明、モートン・リース、劉岸偉	近代東アジアにおける異文化同化過程における翻訳の問題	2006-2008	基盤研究(B)	各国文学・文学論
梶山雅史	水禎文、坂本紀子、笠間賢二、佐藤幹男、山谷幸司	近代日本における教育情報回路としての中央・地方教育会の総合的研究	2006-2008	基盤研究(B)	教育学
西川長夫	米山裕、今西一、麓慎一、石原俊	帝国の法的形成に関する比較歴史社会学的研究 ―「日本帝国」の「内国植民地」を中心に	2006-2008	基盤研究(B)	社会学
長谷川恒雄	河路由佳、中村重穂、前田均、松永典子	第二次大戦期日本語教育振興会の活動に関する再評価についての基礎的研究	2006-2008	基盤研究(B)	日本語教育
牧野篤	小林(新保)敦子、鏡屋(一見)真理子	東アジアの少子高齢化と民衆の生育意識に関する教育学的研究	2006-2008	基盤研究(B)	教育学
宮脇弘幸	白柳弘幸、桜井隆、佐藤広美、佐野通夫、岩崎敬道	日本植民地・占領地の教科書に関する総合的比較研究	2006-2008	基盤研究(B)	教育学
松永典子		多文化・多様化に即した日本語教育方法論の探求 ―戦時下の日本語教師養成を手掛りに	2006-2008	基盤研究(C)	日本語教育
李省展	内海愛子、駒込武、篠崎美生子、内藤寿子、上村英明	「戦後」の「記憶」を問い直す ―アジア・ポストコロニアリズム・ジェンダー	2006-2008	基盤研究(C)	社会学
渡部宗助	佐藤由美	来日アジア留学生に関する歴史的研究 ―工業・工学系分野を中心に	2006-2008	基盤研究(C)	科学教育
三原芳秋		T.S. エリオットと帝国の理念、および東アジアにおけるその思想の散種に関する研究	2006-2008	若手研究(B)	ヨーロッパ語系文学 →英米・英語圏文学
大出尚子		博物館事業よりみた「満洲国」における「民族協和」の実態に関する研究	2006-2008	特別研究員奨励費	東洋史
河澄響矢	岡本和夫、小松彦三郎、渡邊純成	近世東アジア海域に於ける数学の交流と展開	2005-2009	特定領域研究	-
安藤正人	丑木幸男、加藤聖文、栗原純、松田利彦、林雄介、青木睦	朝鮮総督府文書を中心とした旧植民地関係史料の共用化に関するアーカイブズ学的研究	2005-2008	基盤研究(A)	史学一般
塚原東吾	小笠原博毅、加藤茂生、金森修、柿原泰、慎蒼健、中島秀人	日本植民地期の帝国大学の科学技術史的観点からの研究	2005-2008	基盤研究(A)	科学社会学・科学技術史
刈間文俊	若林正丈、村田雄二郎、ラマル・C、伊藤徳也、代田智明、瀬地山角	漢字文化圏の「近代」に関する総合的研究	2005-2008	基盤研究(B)	地域研究
【注】「研究期間」欄に「-2009」と記した研究プロジェクトは、2010年度も継続中のものを含む。					